

1. 評価結果概要表

評価確定日 平成20年 4月 5日

【評価実施概要】

事業所番号	2276100332
法人名	(有)政経
事業所名	グループホーム常葉の家
所在地 (電話番号)	〒437-1421 静岡県掛川市大坂398-1 0537-72-1700
評価機関名	セリオコーポレーション有限公司
所在地	静岡県静岡市清水区迎山町 4番1号
訪問調査日	平成20年3月8日

【情報提供票より】(平成20年 1月 7日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 3月 16日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	22 人	常勤 12 人, 非常勤 10 人, 常勤換算	12.6 人

(2) 建物概要

建物形態	併設	新築
建物構造	鉄筋 造り	
	3 階建ての	1 階 ~ 3 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	36,000 円	その他の経費(月額)	9,000 円	
敷 金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,000 円	

(4) 利用者の概要(平成20年1月7日現在)

利用者人数	26 名	男性	6 名	女性	21 名
要介護1	3 名	要介護2	5 名		
要介護3	13 名	要介護4	5 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83.3 歳	最低	66 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	外科・胃腸科 奥村医院
---------	-------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

掛川市郊外の田園風景の中に位置するホームは、眼前に近隣の児童や高齢者が集う公園があり、恵まれた環境にある。しかし、住宅街からは隔絶されており、隣家までは遠く、地域交流には不利と言えよう。管理者はその環境を良く理解し積極的に交流を求め活動している。また、前回評価をサービス向上の絶好の機会と捉え、職員と共に理念の実践に取り組んでいる。地域のリーダー的存在でもあり、今後の活躍が期待される。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目 ①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	地域や同業者との積極的な交流が望まれていたが、管理者の前向きな努力により改善された項目が多い。業務記録や介護経過記録にも改良が見られ、災害や緊急時の対応も良く検討されている。
重点項目 ②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者は3ユニットをよく把握し評価を実施している。前回評価の指摘項目は全職員により検討されており、前向きに実践に生かす取り組みが行われている。次回はユニットごとの自己評価の取り組みが望まれる。
重点項目 ③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	前回評価後、運営推進会議が実施され、定期的な開催を目指し誠意努力中である。会議上では、家族からの様々な要望が出され、管理者には家族からの意見を積極的にサービス向上に生かす姿勢が見られた。
重点項目 ④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	管理者・職員は、家族等が苦情や要望を伝え易い雰囲気を作っており、意見は迅速に業務に反映する仕組みを持っている。また、管理者は運営推進会議への案内を家族全員に送付し意見を求める等、家族からの意見を事業所側から求めていく姿勢が見られる。
重点項目 ⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	住宅街から離れた郊外にあり、隣組も無く、地域交流には不利な地勢であるが、前回評価後管理者の積極的な働きかけにより、商店街や地区の祭典を誘致するなど様々な試みを実施している。今後、更なる地域との交流が期待される。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営者が提示した理念を、管理者が職員全員に理解しやすい言葉に置き換え、事業所独自の理念「笑顔の多い活動的な生活を」として日々実践に取り組んでいる。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者の熱意と情熱は、会議、研修を通じて伝えられ、職員は理念を良く理解し共有している。今後も理念の実践に向けて更なる努力が期待される。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	住宅街から離れた郊外にあり、隣組も無い中、管理者の積極的な働きかけにより、自治会への参加・商店街や地区の祭典を誘致するなど、様々な試みを実施している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回評価の指摘項目は全職員により検討されている。また、前向きに実践に生かす取り組みが実施されており、改善された項目が多い。次回はユニットごとの自己評価の実施が望まれる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	前回評価後、運営推進会議が実施され、定期的な開催を目指し誠意努力中である。特に家族からの意見をサービス向上に生かす姿勢は積極的である。		

静岡県 グループホーム常葉の家

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者は市高齢者支援課との深い交流を実施しており、担当者との関係も良い。また、市役所主催の事業者会議への参加等、行政との協働に取り組んでおり、今後も新たな関係構築が期待される。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	運営者とのハード面の折り合いから「ホーム便り」の発行には至っていないが、管理者が毎月家族宛の親書を作成するなど個別対応を実施しており、家族からの評価も高い。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	管理者・職員は、家族等が苦情や要望を伝え易い雰囲気を作っており、意見は迅速に業務に反映する仕組みを持っている。また管理者には運営推進会議への案内を家族全員に送付する等、広く意見を求める姿勢がある。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者への影響を配慮し、職員の異動は年1回ペースで実施されるが、管理者は職員と利用者との相性等を良く観察しユニットごとに特色のある良い雰囲気を確保している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は運営規定を堅持し採用時研修、管理者研修を確実に実施している。また、研修等の情報は随時職員に示され、自主的な学習も奨励している。今後は職員からの要望も積極的に取り入れていく方針となっている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域包括支援センター主導での同業者交流には参加しているが、定期的な開催には至っていない。また、運営者や管理者からの働きかけによる自主的な交流は実施されていない。	○	同業者によるネットワーク作りや交流は、行政主導から事業者主導へと転換していく積極的な姿勢が望まれる。また、同業者交流によるサービスの質の向上への取り組みも期待される。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	電話相談や突然の見学等にも対応しており、申込みから見学、体験入所など本人や家族が納得し馴染みながらの利用について十分な対応が出来る仕組みがある。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員と利用者は家族のように共存し、お互いに支えあう雰囲気を大切にしている。職員は利用者の昔話を傾聴し、方言や諺等の学びの場となっている。庭では小さな畑に野菜や花が植えられ、共に収穫を喜ぶ情景もある。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は何気ない会話の中で利用者の希望や思いを汲み取れるよう接している。家族アンケートでは本人の要望が理解されていると殆どの家族が回答しており、面会時には日頃の様子を伝え合える関係が伺える。		
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居時のフェイスシートや家族との面接で得た情報を元に介護計画を立案している。家族の面会時には職員から声をかけ、ケアへの要望や意見を傾聴し介護計画に取り入れるようにしている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画書は6ヵ月毎に見直しを行っている。また利用者の変化に応じて日常の申し送りや月1回のカンファレンスにより随時見直しされているが、ホーム内で介護計画書の書式が統一されていない等の現状も見られた。	○	介護計画は3ヵ月ごとに見直し、更新されることで利用者、家族の意向がより反映されるような取り組みが期待される。また介護計画書の書式の統一、電子媒体の活用等の検討も望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	人工透析者の定期的な通院や外出支援等、適切な医療処置を受けながら、その人らしい生活の継続が図れるよう支援している。今後は更に事業所の力を生かした取り組みが期待される。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医や人工透析の医療機関等と連携し、利用者や家族の希望を反映した積極的な支援を実施している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ターミナルケアについては、入居時または利用者に変化があった時点で、本人や家族の意向を確認している。ホームでの終末期を望む場合は医療機関や家族の協力の下で意向に添った支援を実施する体制がある。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	職員は笑顔で優しく声をかけ、大声を出さない等利用者の尊厳を重視した対応をしている。記録など利用者個々の情報は事務室で保管され、外部の目に触れないように配慮している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホーム全体にゆったりとした雰囲気がある。散歩や食事、入浴等、利用者ひとり一人の出来ることや、したいことを尊重した無理のない、その人らしい生活を確保している。		

静岡県 グループホーム常葉の家

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員は野菜の皮を剥く事やテーブルを拭く等、利用者の方の持てる力を発揮できるよう声をかけ、食事準備に参加しやすいようにしている。また利用者と職員は共に食卓を囲み、食事を味わい楽しめるような環境を作っている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	目安としての入浴日と時間は設定されているが、利用者個々の好みや体調面も考慮し、できるだけ自由な時間に入浴できるよう配慮している。		
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯物干しや取り込み、洗濯物たたみ、布団干し、共有スペースの清掃等、日常生活上での役割が持てるような場面作りをしている。また利用者の殆どが農業に携わっていたという生活歴を活かし、季節の野菜作りを楽しむ取り組みがされている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	受診のための外出支援は積極的に行われており、散歩や近隣の大型ショッピングセンターに買物に出かける機会も作っているが、日常的な外出は限られている。	○	ホーム前の広大な公園では、週末になると親子連れが遊ぶ光景が見られている。恵まれた環境を活かした散歩や近隣の大型ショッピングセンターでの買い物、また季節に合わせた観光や外食等日常的な社会との交流が望まれる。
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関のドアは日中は一切施錠していない。お天気の良い日は開放し、洗濯や布団干しをするなど自由に出入りする光景が見られている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回ホーム独自の防災訓練を実施している。各ユニットの事務室にはマニュアルを掲示し、災害時の対応について職員への意識付けを実施しているが、地域の防災訓練への参加はしていない。	○	運営推進委員会での自治会との交流を通じて、地域の防災訓練に参加するなど、地域の人々の支援や協力が得られるような取り組みを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立と食材は専門業者に依頼することでバランス良い食事が提供されている。また利用者の好みなどを考え調理法を変更するなど臨機応変な対応がされている。食事は○印で記録されているが水分量の記録はしていない。	○	食事は利用者の年齢、性別、活動量によっても様々である。一律ではなく個々にあった盛り付け量の配慮を期待したい。また食事は記録は主食と副食に分けた摂取量の記載が望ましい。水分摂取量の記録も望まれる。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースは明るくゆったりとしている。さりげなく活けられた菜の花からは春が感じられ利用者の心を和ませている。また、各ユニットではイベントや外出時のスナップ写真を飾ったり、桜をテーマにした季節感のある掲示がなされ、暖かい雰囲気を作っている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッド以外はなるべく本人が使い慣れたものを用意して頂くよう家族に依頼しているが、近くのショッピングセンターで新しい家具を購入する家族が多い。しかし各々の部屋には家族の写真や孫の絵等が飾られ、和やかな雰囲気を作っている。		